

第51回九州地区 体育指導委員研究大会

1月24日(土)・25日(日)に、宮崎市のサンホテルフェニックス宮崎国際会議場で、研究大会が開催されました。九州各県より、約2,300人の参加がありました。

1日目は、功労者表彰に引き続き、NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会副理事長の平井博史氏による「コーディネーショントレーニングとは」という記念講演がありました。コーディネーション



宮崎市で行われた研究大会



大会に参加した体育指導委員

トレーニングとは、神経系に視点を置いたトレーニングで、子どものころに大切かつ有効な運動です。昔ながらの遊びの中にその要素が含まれているということで、改めて遊びの大切さを感じました。

2日目は、大会テーマである「生涯スポーツ社会を支える地域のスポーツコーディネーター」について、各分科会ごとに発表があり、活発な意見交換が行われました。総合型地域スポーツクラブや体育指導委員の役割についてなど、研修を深めることができました。

平成20年度第1ブロック 女性体指研修会

地域スポーツのコーディネーターとして求められる高い知識技術の習得を目的とし、2月22日(日)に和水町のふれあい会館で、女性体指の研修会が開催されました。

最初に、日本健康運動指導士会熊本支部副理事長の村上光昭先生の講演がありました。演題は「地域の健康づくりに役立つ実践運動」でした。内容豊富な講演でしたが、紙面の関係で一つだけ紹介します。

椅子に座った状態で、肩・手・足・おなか・胸・首・顎・頬・目・おでこ・頭と、上から下へ、下から上へと順番に叩いて刺激を



村上先生の講演

与えます。こんなことと思われるでしょうが、まずはだまされたと思ってやってみてください。

次に、玉名消防署員の指導で、公共施設に設置されている救命器「AED」の実技講習を受けました。何回か講習を受けてい

ますが、いざというときに落ちていて対処できるかは不安ですね。それだけに繰り返し研修が必要だと思います。



研修会に参加しての感想を発表する体育指導委員

ニュースポーツ紹介! 「卓球バレー」

スポレク祭の会場で、ニュースポーツ「卓球バレー」の紹介コーナーを設けました。「卓球バレー」とは、卓球台の周りを1チーム6人、計12人で囲んで椅子に座り、空のペットボトルをラケットにして鉛入りのピンポン球を打ち合うゲームです。ルールは、バレーボールに似ています。球は必ずネット下を通し、3回以内で返します。

6人の内ネット際の2人は、相手コートに打ち込んだり、ブロックしたりしてはいけません。チームのアシスト役に徹します。他の4人は、パスしたり打ち込んだりして、3回以内に返します。コートの外に球を落としたり、ファウルをしたりすると相手の得点になります。

体験コーナーでは、初めてにもかかわらず小学生からお年寄りまで一緒になって「1・2・3」とかけ声をかけながら楽しんでいました。



第4回市民スポレク祭

2月15日(日)に、市民スポレク祭が旭志を会場に行われました。主催は菊池市で、運営するのは私たち体育指導委員です。旭志体育館で開会式があり、各会場に別れて競技が行われました。

引き続き旭志体育館で行われたのは、ドッチビーです。全チームが小学生を中心に組織され、数人の保護者や先生たちが

加わっていました。

オーバーハンドスローを禁止したおかげで、低学年も楽しみながら参加できました。決勝トーナメントでは、同一校の対戦もあり、大変盛り上がりしました。

旭志中体育館では、ふらばーるボールバレーが行われ、15チームが熱戦を繰り広げました。親戚を中心にチームを構成した力モガワチームが、チームワークの良さを見せ優勝しました。

旭志公民館大研修室では、アジャタが行われました。9チームで争われ、花房体育理事チームが優勝しました。会場の関係で、これまでより一段低い高さで行いましたがこの方が入りやすく、「いい」という声も聞かれました。

競技の後は、お楽しみ抽選会です。菊池市各地の特産物や巨大なドッチビーなどが当たり、会場は競技会に負けないうくらい盛り上がりしました。このスポレク祭も4回目となる

り、菊池市の各地区を一周したことになりました。4回連続参加している人もおり、小学生が楽しみにしているという声も聞かれます。それはうれしいことですが、欲を言えばもう少し参加チームが増えてくれるといいなと思います。

ドッチビーなどは、低学年と高学年で差があるので、参加が増えると思えます。そうすると低学年でももっと楽しめる大会になると思えます。

運営をする方でも、さらに魅力あるものにするように工夫していきたいと考えています。今年参加した皆さんは、来年はぜひ友人・知人を誘って参加してください。

各種目の上位成績

- ドッチビー
 - 1位 旭志タイガース
 - 2位 七城 チャレンジャーズ
 - 3位 七城米 ファイターズ



優勝チームの一言
「日ごろのまとまり、チームワークが勝因だと思います。」

- ふらばーる
ボールバレー
 - 1位 (保)KAMOGAWA
 - 2位 花房A
 - 3位 深川A



優勝チームの一言
「チームワークで勝ち取った優勝でした(2回目)。来年、連覇を目指します。」

- アジャタ
 - 1位 花房
 - 2位 河原校区体育会
 - 3位 迫間・水迫体育会



優勝チームの一言
「たまたまかな!?勝利の女神の微笑みです。」



ドッチビー



ふらばーるボールバレー



アジャタ

お知らせ(予告)

今年度は、体育指導委員の改選の年で、新しいメンバーも入っていることでしょうか。そこで、今回の「体指ですよろしく」では、各支部の体育指導委員について紹介します。